# 平成３１（２０１９）年度　熊本県立人吉高等学校　定時制　シラバス

| 教科 | 理科 | 科目 | 科学と人間生活 | 単位数 | ２ | 開講学年 | １学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 学習概要および学習目標 | 小・中学校の学習内容を復習しながら、自然と人間生活との関わりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学に対する興味・関心を高め、科学的な見方や考え方を養うとともに、身近な例をもとに科学が人間社会に不可欠なものとして発展してきたことを理解させる。 |

| 期間 | 単元（学習内容） | 学習の到達目標 | 自己評価欄 |
|---|---|---|---|
| １学期期末まで（１５時間） | 序　編　科学技術の発展<br>第２編　生命の科学<br>第１章　生物と光<br>①植物と光<br>②ヒトの視覚と光 | ●科学技術が時代とともに進歩して人間生活を豊かで便利にしてきたことを理解できた。<br>●植物の葉緑体による光合成のしくみを理解し、植物の光に対する反応と栽培技術への応用が理解できた。<br>●眼の基本的な構造や眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じているということを理解できた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |
| ２学期中間まで（１４時間） | 第２編　生命の科学<br>第１章　生物と光<br>③動物の行動と光<br>④ヒトの健康と光<br>第３編　熱や光の科学<br>第２章　光の性質とその利用 | ●光が動物の行動に与える影響について理解できた。<br>●可視光線、赤外線、紫外線、電波などに共通した性質を理解できた。<br>●光を中心とした電磁波の利用について、日常生活と関連付けて理解できた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |
| ２学期期末まで（１３時間） | 第４編　地球や宇宙の科学<br>第１章　自然景観と自然災害 | ●身近な地域の自然景観をつくりだした諸作用について理解できた。<br>●自然災害の危険性について認識を深めることができた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |
| ３学期期末まで（１２時間） | 第１編　物質の科学<br>第１章　金属、プラスチックとその再利用<br>終　編　これからの科学と人間生活 | ●代表的な金属及びプラスチックの性質と用途を関連付けて理解できた。<br>●金属やプラスチックの性質や用途、再利用について日常生活と関連付けて理解できた。<br>●科学への興味・関心を高めることができた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |

| | |
|---|---|
| 使用教材<br>参考図書 | 科学と人間生活　くらしの中のサイエンス（数研出版） |
| 学習方法 | ①授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。<br>②疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印をつけておくこと。<br>③疑問点の解決を目指し授業に参加すること。<br>④授業で作成したノートを使って、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。 |
| 評価方法 | ①毎時間の「ノート」、「ワークシート」、「質問カード」、「出席状況」を成績に入れます。<br>②実験時の「実験に取り組む態度」、「実験操作」、「実験結果の考察」を成績に入れます。<br>③単元ごとに行う「単元テスト」の結果を成績に入れます。<br>④単元ごとに課す「レポート」を提出してもらい、内容に応じて成績に入れます。<br>⑤毎学期の「定期考査」の結果を成績に入れます。 |